

室町文化 (教科書p86～p87、資料集p78～79)

☆教科書 p 8 6 ～ p 8 7 (復習&予習 クラスによって違います。)

文化名	将軍	代表的な建物
北山文化	義満	金閣寺(鹿苑寺)
東山文化	義政	銀閣寺慈照寺(書院造)

- ・障子、ふすま、床の間がある形式。
- ・おちついた庭園

☆文学作品

- **太平記** 南北朝の争乱を書いた軍記物。
- **御伽草子** みんなが知っている「一寸法師」「浦島太郎」「一休さん」などの話が出てきます。
- 連歌 和歌からうまれた。

☆芸能・美術

- 能(能楽) (**観阿弥**) ・ (**世阿弥**) の親子が完成させる。
- 狂言も行われる。
- 茶の湯・・・・・・後に千利休が完成させる。
- 水墨画で有名な (**雪舟**) 【人物名】
- 1日3食になったのもこの時代です。



☆室町文化の特色をまとめよう！！ (何の影響？どのような感覚がそだった？)

- 大陸の文化の影響を受けた新たな文化。
- 15世紀後半からは、武士をにない手とする簡素で気品のある文化。
- 民衆の経済的な成長とともに、民衆にも文化が広がった。

※このころは京都だけでなく、地方にも文化が広がっていった。(例) 栃木県の足利学校

※仏教もあいかわらずさかん。特に幕府の保護を受けた (**禅**) 宗がさかえる。

※宗派の確立

浄土真宗・・・北陸や近畿の武士、農民に広がる。

日蓮宗・・・京都や堺の商工業者に広がる。

※民衆の経済的な成長 → 民衆にも文化が広がった！！

